


実践事例

学 校 名	宮崎市立宮崎西小学校		
活動・行事名	○ 盲導犬についてしよう。 (大塚台からやさしさをひろげよう)	対 象	3年生 参加者97名
活動・行事のねらい	○ 国語科で学習した盲導犬について実際にふれあい、確かめ合うことで知識をさらに深める。 ○ 実際の盲導犬とその持ち主について理解することで、視覚障害者の方への共感的理解を進める。		
活動までの準備や事前指導	○ 年間の教育活動の中の一貫として位置づける。 ○ 事前に社会福祉協議会に申し込みをして、児童の質問したいことなどを伝え、連絡調整を行う。		
活 動 の 内 容			
<p>1 講師の方や盲導犬の紹介 生島さん(視覚障害者 盲導犬ユーザー)とセシル(盲導犬)</p> <p>2. 講師の方のお話</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 視力障害があるということ ○ 盲導犬との出会い訓練の内容など ○ 盲導犬が来て変わったこと ○ 辛い訓練 ○ 盲導犬との生活の様子 ○ これからのこと ○ みんなに考えてほしいこと <p>3. 実際に盲導犬と歩く様子を見せていただく。 「速ーい！」</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 体育館を1周(途中の障害物をさけて通るようすを見る。) <p>4. 質問応答</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 命令の言葉はどのようにして覚えさせるのですか？ ○ 新しい言葉を覚えるのにどのくらいの時間が必要ですか？ ○ 盲導犬が来て一番変わったことはどんなことですか？ ○ 町を歩いていて困ることはどんなことですか？ ○ ほえたりかんだりすることは絶対にないんですか？ <p>5. お礼の挨拶</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 西嶋さんにとって盲導犬がどんなに大切な家族かということがよくわかりました。ありがとうございました。 			
成 果 と 課 題			
<ul style="list-style-type: none"> ○ 福祉教育2年目となり、いろいろな手順を指導者が熟知し、スムーズに運営できるようになった。 ○ 児童のニーズに合う教育を提供できたことで、児童の福祉に対する理解や実践力が高まった。 ○ 本校では未だ経験のない福祉施設への訪問等、より現実的・実践的学習を企画していきたい。 			